

capillaris Makino is to be a virus-infected form.

Bladhia crenata Hara and *Trachelospermum asiaticum* Nakai are susceptible to virus diseases. The form with crisplate leaves is to be a virus-infected one.

Euonymus japonicus Thunb. var. *aureo-variegatus* Lowe has two types, one of which being hereditary and another pathological. The latter is to be a Virus-infected form.

The variety with crisplate leaves of *Ligularia Tussilaginea* Makino is supposed to be a virus-infected one. The characteristics specific to virus disease is recognizable in early spring and entirely masked during the summer in the case of the variety *crispata* Makino.

Some species of ferns have the leaves with split edges. Its cause is often due to virus infection, though it is hereditary in some cases.

○古代裂に混在した蘚類 (野口彰) Akira NOGUCHI: On some mosses found among the ancient Japanese silk-clothes,

法隆寺の古代裂に混在したと云われる一つまみ程の蘚類が朝比奈泰彦博士から送りと
どけられた。割合に利用方面の少い蘚類が、意外なところに発見されたのをみて、一寸
びつくりした。この材料はどのくらいの年数を経過したものか十分には判らないが、色
は褐色に變つても組織はかなりよく保存されている。蘚の種類は 1) ミズスギモド
キ *Aerobryopsis subdivergens* (Broth.) Broth. 2) サイコクサガリゴケ *Meteoriomum
helmintocladulum* (Card.) Broth. var. *cuspidatum* (Okam.) Nog. 3) トサノサガリ
ゴケ *Barbella Determesii* (Ren. et Card.) Fleisch. 4) セイナシヒラゴケ *Neckeropsis
Lepineana* (Mont.) Fleisch. の 4 種で、量は 1) が大多數を占めて他は断片にすぎない。
4 種とも懸垂型の蘚で、4) を除いて本邦でも九州、四國の南部、近畿南部などの
溪谷沿いの森林中では、これらが樹幹枝から垂れている特異な景觀に接するの珍しく
はない。4) は熱帶アジア、南太平洋諸島、東部アフリカ方面に分布して樹幹枝からも
垂れ下るが、本邦では石灰岩上に限られて存在する。なお海外では、1) は臺灣、中國、
マレー、3) は臺灣、ヒマラヤ、2) だけは本邦特産になつてゐる。この材料が何れの地
から得られたかは、にわかに決めにくいか、いずれも今もなお本邦の西南部には稀では
ない。(大分大學學藝學部)

〔附記〕 本資料は昭和 27 年 7 月國立博物館の山邊知行氏から資源科學研究所の林孝
三氏に提供されたもので、古代裂の殘缺を納めた唐櫃から発見された由である。又此唐
櫃には所謂法隆寺裂と正倉院裂の断片が混在するので問題の蘚類が何れに由來するかは
判然しない。いずれにしても往時裝身具などの詰物として使用された可能性が大きく、
おそらく 1000 年前後を経過したものらしいとのことである。(朝比奈泰彦)